

実は神様がたくさん?! 神話と伝説を巡るコース コンセプトポイント



1 札馬神社

境内にはインドの仙人といわれる法道仙人(ほうどうせんじん)の手形と言われる型のついた石や、腰を掛けたと言われる腰掛岩がある。法道仙人は鉄の鉢を持っていたことから、空鉢や空鉢仙人とも呼ばれる。6~7世紀頃、中国・朝鮮半島を経由して日本へと渡ってきたとされているが、詳しいことはわかっていない。

チェックポイント 伝説の仙人、法道仙人の手形とされるものが残っている。



2 投げ松

法道仙人(ほうどうせんじん)が加西市にある法華山一乗寺(ほっけさんいちじょうじ)を開いた時、そこにあった小松を一株根もとから抜き山越しに投げたところ、小松は枯れないでそのままそこに根を下ろし、成長して幾抱えもの大樹になったと言われている。その松は大正時代に入った頃枯れてしまったが、現在はその根と幹の一部を「投げ松」としてお堂の中に保存されている。

チェックポイント 法道仙人が投げたと言われている松。一部しか残っていないが、迫力は十分。



3 お清地蔵

いつの頃からかここに地蔵が建っていた。文政8年(1825年)にお清という人の夢の中でお告げがあり、お堂を作り祀ることになったという。それ以来お清地蔵として親しまれている。地蔵の前にある石で怪我をしたところをこすればよくなると言われ、地元の人々から大切にされている。

チェックポイント 怪我を治してくれる地蔵として地元で親しまれている。

播磨国に多くの伝説を残す法道仙人。
特にこの地域にはゆかりが深く、所縁の寺なども多く残っています。
人々に畏怖の念を抱かせてきた仙人の伝説を辿ってみませんか?
何か大きな力をもらうことができるかもしれません。



【凡例】

- モデルコース (約14.1km)
- 1~3 コンセプトポイント
- A~E よりみちポイント

トイレ
 喫茶 レストラン
 自販
 P



©That's & Trial 2010